

共生

奈良県生協連

2008年7月

NO.69

万葉のいぶきを求めて—(34)



重くたれる稲穂（後方は若草山）

秋の田の 穂向きの寄れる 片よりに 君に寄りなな 言痛かりとも
但馬皇女

高市皇子たけちのみこはNo.25,26でもとりあげましたが、天武天皇の第一皇子であり、壬申じんしんの乱の際には天武側の総指揮官を務め、太政大臣にまで上った人です。

但馬皇女たじまのみめはその高市皇子の妃でしたが、同じ天武天皇の第五皇子である穂積皇子ほずみのみこに熱い思いを寄せたのです。今日で言えば、総理夫人のスキャンダルと言った所でしょうか。

「秋の田の稲穂の向きが、一つの方に片寄ってなびくように、ただひたむきにあなたに寄り添いたい。どんなに世間のうわさがうるさくとも……」

全国を戦乱の渦に巻き込んだ大乱、壬申の乱の終わった後の混乱した世相が背景にあったのでしょうか。それでも密通は古代社会でもタブーだったのです。このスキャンダルは当時の社会の大きな話題になったようです。

そんな世間の噂を尻目に、但馬皇女の恋は日を追って激しく燃え上がります。

第19期 県通常総会を開催しました!

□県連総会ご来賓挨拶

県食品・生活安全課 課長 山菅善宣様



改定生協法に伴う定款等の改定で新たな一步を踏み出され、今後もよりよい生協を目指し取組まれること

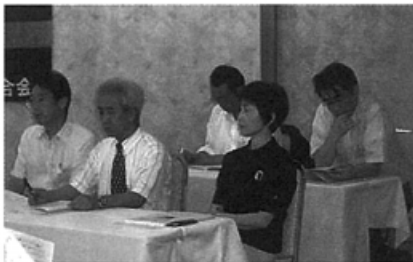
と存じます。連合会では、行政が担えない分野で適格消費者団体の一員として業者への改善申し入れ等積極的な取組みに感謝申し上げます。

6月には、割賦販売法と特定商取引法の改正案が成立し、来年施行により訪問販売再勧誘の禁止、クレジット会社の営業活動、支払能力調査等通じ、消費者トラブルの減少が期待されます。また、消費者庁

の設置の動きは、だれもがアクセスしやすい窓口の設置、トラブルに迅速に対応、行政の司令塔として取組みを指導、縦割りを超え新法等の企画、政策への消費者の声の反映される仕組みとしてまとめられました。状況を注視しながら、目指すべき方向が一致する貴連合会と連携しながら消費者行政を進めて参ります。



〔その他ご来賓等〕



その他ご来賓として、県食品・生活相談センター所長 前田智子様(前列右)、奈良YMCA部責任 渡辺新久様(前列中央)、日生協関西地連事務局 元山鉄朗様(後列右)、KC'S事務局 林輝泰様(後列左)にご臨席を賜りました。総会開催に当っては全国の生協連合会及び単協、友誼団体より多数のメッセージをいただきました。ありがとうございました。

□議事関連

出席状況は代議員定数27名中、本人出席23名、委任出席2名、書面出席2名、オブザーバー含め全体で75名が参加。堀脇純子代議員(ならコープ)を議長に選出、議事に入りました。今期、生協法改定に伴い、定款及び規約等の改定に関する議案提案が行われました。第1号議案から役員選挙を除く第9号議案まで一括提案の後、各会員生協からの活動報告がありました。この後、採決の結果、全議案が賛成多数で可決承認されました。次に役員選挙が行われ、2名が退任、3名の新任を含む理事12名、監事2名が選出され総会を終了しました。

もくじ

県連総会関連	1~4	ピースアクション 2008	9
日生協関連報告	5	広がる協同・くらしの輪	10
消費者課題	6	つながる連帯・友好の輪	11
環境課題	7		

□新体制は以下のとおりです。

役 職	氏 名	所 属	所属先役職
会長	逸見 啓	員外	ならコープ名誉理事
副会長	瀧川 潔	員外	ならコープ特別顧問
副会長 新任	三輪 敏通	奈良県労済生協	専務理事
専務理事	仲宗根 迪子	ならコープ	理事
理事	崎濱 誠	奈良県立大生協	理事
理事	竹内 繁	奈良女子大生協	専務理事
理事	立石 昭彦	ウィル・コープなら	理事長
理事	友金 一	奈良高専生協	理事
理事	前田 陽一	コープ自然派奈良	専務理事
理事	森 宏之	ならコープ	理事長
理事 新任	柳澤 克哉	大阪樟蔭女子大関屋キャンパス生協	理事
理事	山下 正純	奈良教育大生協	専務理事
監事 新任	田村 俊文	ならコープ	監事
監事	山田 政広	奈良県労済生協	監事

皆様、よろしく申し上げます。

〔新任理事〕（敬称略）



三輪敏通
労済生協専務理事



柳沢克哉
大阪樟蔭女子大学関屋CP理事



田村俊文
ならコープ監事

〔退任理事〕（敬称略）



森田真次
大阪樟蔭女子大関屋CP理事



竹田恵子
コープ自然派奈良監事

今期で役員を退任されるのは 大阪樟蔭女子大学関屋CP生協 森田真次理事、コープ自然派奈良 竹田恵子監事のお二人です。県連の発展のためご尽力いただき、ありがとうございました。これからのご活躍を祈念するとともに感謝の意を送りたいと存じます。

総会 各会員生協活動報告

ならコープ 小鷹狩幸子代議員



商品事業では餃子問題によるコープブランドへの信頼が失墜、このためフードセーフティシステムの強化として4つの項目を強化1) J Aならけん直売所設置。2) フードセーフティシステム強化。3) 暮らし応援価格の設定。4) 加工食品の生産地表示等を進めています。また、生産者交流・産地見学・商品試食会を積極的に展開、菜の花プロジェクトや廃油回収・再利用が評価され、CSR大賞やバイオエネルギー賞を受賞し、環境問題もさらに取組みを進めます。

奈良高専生協 住谷和紀代議員



07年度は学生委員会の活動の効率化を図るため、「お菓子チーム」「食堂チーム」「ホームページチーム」の3つのチームに分けて取組みました。また、全体では、1) 新入生歓迎会と教科書販売支援。2) 夏のカキ氷販売。3) 夏と秋、業者による自転車点検の実施等に取組みました。カキ氷販売では価格を昨年より引き下げ好評を得ました。また、自転車点検では組合員に喜ばれています。これからも、組合員が喜ぶ生協を目指して頑張ります。

奈良県労済生協 中川修三代議員



協同組合間協同の一環としてならコープの店舗での保障相談会に参加、「火災共済」の相談受付を行いました。昨年50周年を迎え、キャンペーン活動として、地域防災力向上に向け「防災士」3名の育成、地域貢献の一環ではボランティア活動として東大寺周辺の清掃活動と献血も実施。1月からは火災共済に「エコ住宅専用保障プラン」ができ、掛け金割引を開始するとともに、掛け金の一部を環境活動団体への寄付に充てるなどの取組みをはじめています。

奈良県立大学生協 藤本隼平代議員



昼夜間が合同になり、それに合わせて店舗がリニューアル、学生の意見を反映した楽しいお店作りに頑張っています。今後、組合員のスキルアップ支援などにも取組んでいきます。学生委員会は、組合員のよりよい学生生活を実現する活動を強め、大学に入って良かったと思える活動に取組みます。近々では食生活相談会の開催、夏には学生が交流できる夏祭りを計画、チャリティーライブの開催でユニセフへの寄付も検討しています。

奈良教育大学生協 矢野辰弥代議員



約30名の学生委員で取組みを進めています。学生の生活に役立つ情報提供ツールとして機関誌「KARIN」の発行を行っています。また、新入生歓迎企画として5つの企画を後期の大半を費やして準備、先の「さくらハイク」(ならまち探索等)では、過去最大183名の参加がありました。食生活相談会では、多くの学生が参加、喜ばれる活動が来ています。現在、夏祭りの企画を準備中で、学生・教職員の意見を反映するように進めているところです。

奈良女子大学生協 吉村彩代議員



現在1、2年生約20名中心に進めています。メインの活動は受験生・新入生のサポート活動、クリスマスパーティーと七夕祭の企画を進めています。全国からたくさんの受験生が来ますが、不安にならないようにたくさんのお手伝いをしています。現在、先輩が作ったベジサンドが原油価格の高騰でパンの値上がりに伴い存続の危機にあり、食い止めるためアンケートや署名運動に取り組んでいます。生協職員の皆さんと連携を大切にすすめていきます。

大阪樟蔭女子大学関屋CP生協 小中彩那代議員



皆が来て良かったと思える大学づくりを目指して取り組んでいます。新入生を対象に「新人さんいらっしゃい」(3月末)「受講登録相談会」(5月初旬)を開催しました。現在は、体の中からきれいになろうと、食と健康という視点で6月「目指せ健康美人」に取り組んでいます。少しでも長い目で健康について考え、生活を見直してもらうことを獲得目標に取り組んでいます。今後も皆が樟蔭に来て良かったと思える大学づくりに頑張ります。

コープ自然派奈良 辰巳千嘉子代議員



設立5年目となり、組合員活動では基礎がやっと出来てきました。食物アレルギーへの取り組みや菜の花プロジェクトでは、地元小学校の子供たちと食育もからめた活動も進めています。また、子育てサポート、異文化理解等新しいチームも生まれ、地域での繋がりを深めていきます。今後、生産者との交流や田んぼの生き物調査なども深めるとともに、CO2削減も見据えた取り組みにも繋げていきます。さらに、自給率問題含め小規模ながら取り組んでいきます。

ウィルコープ奈良 甲斐京子代議員



今総代会において「生活クラブ生活協同組合」への名称変更の承認を受け変更実務を進めています。07年度地区運営の仕組みをスタートさせ、全エリアを6つのエリアに区切って活動を進めます。また、消費財の生活クラブ商品への移行、連合会の委員会活動に合流。早期自立に向けては、仲間づくり体制の強化を進めます。飼料自給率、耕作地の休耕などの状況から3年前から飼料米栽培、自給率向上を掲げ企画の展開含め運動として推進して行きます。

***** 総会終了後「つどい」開催 *****

総会終了後、各会員代議員はじめオブザーバー参加の組合員及び役職員による「つどい」を開催。相互の活動交流と懇親を深めました。はじめに、第1回理事会報告を逸見会長が行い、ご来賓からは、食品・生活相談センター所長前田様、関西地連事務局元山様、KC'S事務局林様よりひと言ご挨拶を賜り、それぞれの立場から期待と激励の言葉をいただきました。和やかな雰囲気の中、会員生協相互の交流が深まりました。



日本生協連・冷凍ギョーザ問題検証委員会 最終報告と今後の対応

日本生協連では「CO・OP手作り餃子」で重大中毒事故を発生させたことを受け、2月に「冷凍ギョーザ問題検証委員会」を立ち上げ、検証を進めてきました。4月に中間報告が出され、それに基づく日本生協連の対応がまとめられましたのでご紹介します。

冷凍ギョーザ問題検証委員会からの日本生協連に対しての主な指摘事項

- ① 食品の安全性に係るクライシスは、「起こりうる」ことを前提に会員生協と連携して品質保証体制を強化すること。
- ② コープブランドオーナーとして、製造者と同等の食品安全管理体制を整え、リスクプロファイルを整備し安全性の確保を明示すること。
- ③ 消費者・組合員・メディア等とのリスクコミュニケーションを強化すること。
- ④ コープ商品で人命にかかわる重大な危機が発生したときには全国の司令塔としての役割と責任を果たすこと。
- ⑤ コープ商品以外でも商品被害の広域化・多発化が予想される場合、被害拡大防止にイニシアティブを発揮すること。また、生協全体や社会に対して「食品テロ」も視野に入れた社会システムの整備、幅広い関係者によるネットワークやデータベースの構築、行政機関との連携強化が指摘されました。

日本生協連の対応

コープ商品の品質保障体系の再構築に向けた基本的な考え方を発表し、計画を示しました。

- ① コープ商品の品質保証体系を「原料から加工、流通、販売、事故対応」とし、責任を果たす
- ② ブランド責任を製造者と同等とし、「品質管理」「安全管理」「危機管理」の体制を再構築する
- ③ お取引先との緊張ある信頼関係の上で、リスク情報を整理し商品開発と管理の強化を行う
- ④ 工場点検の頻度を上げ、「輸入食品ガイドライン」や食品防御の視点での安全管理を強化する
- ⑤ 商品検査は開発時検査に加え毎年全品検査、偽装監視や専門性を持った検査担当を配置する
- ⑥ お問い合わせ・苦情対応では情報の共有化一元化を計り、対応ルールやプロセスを再構築する
- ⑦ 人命にかかわるクライシス対応では早期発見と組織感度の向上、会員生協との連動を強化する
- ⑧ 情報システムを会員生協・お取引先と共有化ネットワーク化し、また組合員へ商品情報を公開する
- ⑨ 商品本部の増員、サービスセンター設置、品質保証本部に安全管理担当配置など組織体制の強化
- ⑩ 再構築計画への追加投資と費用に30億円を充てる

上記の考え方に基づいた再構築計画の進捗を第三者によって検証、事業や連帯構造の強化、組織体質の改革など勧めていきます。詳しくは <http://jccu.coop/>

「生協」は地域にある単位生協、地方やテーマごとの事業連帯・連合、全国連合がタテ・ヨコに連携しており、これらが責任の所在を曖昧にし、対応の遅れにもつながりました。組合員の安心・安全な生活のために全国の生協がこのことを教訓にして対応することが求められています。

□消費者庁構想が進んでいます！

政府では昨年より「生活安心プロジェクト」を立ち上げ、消費者を主役とする行政のあり方を広く国民に意見を求めて議論を進めてきました。先ごろ「消費者庁」設置に向けて取りまとめが行われ、具体化に向けて進み出しましたので、以下そのポイントをお知らせします。

詳しくは <http://www.kantei.go.jp/jp/singi/shouhisha/>

＝ 消費者・生活者を大事にする行政に大転換します ＝

「消費者を主役とする政府の舵取り役」となる消費者庁(仮称)を来年度に創設

消費者行政推進会議取りまとめの5つのポイント

- 1 消費者が何でも相談でき、誰もがアクセスしやすい相談窓口の全国ネットワークを構築**
 - ・ 共通の電話番号の設置、緊急事案に代表的窓口が24時間365日対応
 - ・ 地方自治体の消費生活センターを法的に位置づけ、国は相当の財源確保を措置するなど、地域の現場の体制を強化
- 2 相談窓口と行政の対応を直結し、トラブルに迅速な対応**
 - ・ 消費者に身近な問題を取り扱う法律を幅広く所管し、消費者の声に責任を持って執行まで一貫した対応
- 3 消費者行政の「司令塔」として、各省庁の取組を強力に主導**
 - ・ 各省庁への強力な勧告権の活用による迅速な対応を促進
 - ・ 専門的知見の活用等各省庁との協力体制を構築。二重行政は回避
 - ・ 緊急時において政府一体となった迅速な対応の指揮
- 4 消費者の目線に立って、各省庁の縦割りを超え幅広い分野を対象に新法等の企画立案**
 - ・ 各省庁のすき間に落ちる事案に漏れのない対応を図るための新法の制定
 - ・ 事故情報報告・公表、食品表示、消費者信用等の分野の横断的な体系化
 - ・ 既存の法律を常時見直し。被害者救済のための法的措置の検討
- 5 政策全般に消費者の声を反映する仕組み**
 - ・ 消費者政策委員会(仮称)の設置や地方から政策を提案する仕組みの構築

＝ 消費者・生活者一人ひとりの安全・安心を守ります ＝

当連合会では国民生活審議会の「消費者・生活者を主役とした行政への転換に向けて」の取りまとめに対して、積極的に推進することを求めたパブリックコメントを提出しました。関西を拠点とする「新しい消費者行政を実現する連絡会」とともに、消費者庁設置の動きを注意深く見守っていきます。

温暖化防止の取り組み

2008年度は京都議定書の目標達成に向けた初年度で、7月には地球温暖化対策をメインテーマの1つとした北海道洞爺湖サミットが開催され「環境の年」となります。日本生協連では会員生協と共同で、6月～8月を中心に「コープ地球温暖化防止1000万人のくらしの見直しキャンペーン」を実施し、地球温暖化をはじめとする環境の取り組みを推進しています。詳しくは <http://www.ecolife.coop/>

ならコープの「一日エコライフレポート」の取り組み

ならコープ理事 松村由美

ならコープでは、家庭部門の温室効果ガス削減に向けて「わが家の一日エコライフレポート」を2万人規模で取り組みます。これは日常のくらしを見直す10個のエコライフ項目について、家族で何人実行できたか、減らした二酸化炭素(CO₂)の合計量を記入するものです。まずは、わたしたちひとりひとりが地球で生活する一員として地球温暖化の現実をしっかりと認識し、日々のくらしのなかでできることを確実にやることがなによりも大切です。



多くの組合員にも参加していただくとうと無店舗事業では「一日エコライフチャレンジシート」を6月1回企画案内書とともに配布し職員からの参加呼びかけを行いました。

また、インターネットを活用し、ならコープのホームページや携帯電話からQRコードを読み取りで参加できるようにしています。

さらに、多くの人々が集う場で参加していただけるよう、一日エコライフシートの大型サイズ「一日エコライフチャレンジボード」を作成し、できている項目にはシールを貼っていただくシール投票方式で参加を広げています。

多くの組合員や県民が集うアースデー、店舗では6月の環境月間や周年祭、行政主催の環境フェア、地域の企画などでご参加いただいた皆さんとは「私は気を付けているけど子供はできていないわ」とか「コープのお店にはマイバックは必ず持参しています」などの会話ははずみ、親子や友達同士でもエコグッズの利用など日頃工夫していることの教え合いもあり、楽しく参加していただいています。このような取り組みがもっと広がるように、いろいろなサイズのボードを準備して、産地工場見学、学習会、試食会などあらゆる組合員活動の場で活用できるようにしました。6月21日の奈良県生活協同組合連合会の第19期通常総会でも「一日エコライフチャレンジボード」を持ち込み、参加者にチェックをしていただき、懇親会では「一日エコライフチャレンジボード」の紹介と貸し出しを提案したところ、早速、大学生協から貸し出しの依頼もいただきました。これからも一日エコライフチャレンジシートを活用し「地球温暖化を防ぐために、できることから始めましょう！」と参加を呼びかけていきます。

親子平和のつどい

参加費
無料

テーマ

平和をつくるのは わたしたち

～子どもたちに残したいもの～



1部 被爆体験のお話

14時30分～(40分)

語り部 秋山 勝彦さん

「原爆はそら豆のごげるにおいがしました」と秋山さん。広島で5歳の時に被爆されました。子どもの目線から見た当時の事を子どもにもわかりやすくお話ししていただきます。



2部

アニメ映画上映

“マヤの一生”

原作 椋 鳩十

15時20分～(1時間15分)

昭和16年鹿児島のある一家に一匹の子犬がやってきました。小犬はマヤと名付けられました。やがて太平洋戦争が始まり「食料難の時代に犬を飼うのは贅沢だ」という理由で犬を殺すという命令がマヤの元にも…。



*絵本展示や資料展示
コーナーもあります。

日時: 2008年8月9日(土)

14:30～17:00 (14:00～受付開始)

参加費: 無料 (大人だけの参加もOKです)

会場: やまと郡山城ホール (近鉄郡山駅より徒歩10分)

定員: 100名 (先着順。定員になりしだい、受付を終了します。申込みは今すぐ!!)

随時、申込みを受付中



お知らせ

秋企画として、ピースキャンドルと映画のつどいを10月11日(土)にならまちセンターにおいて開催します。みなさんの平和のメッセージを寄せて下さいね! 組合員のみなさんには、9月に配布するピースチラシでお知らせします。お楽しみに!!

この企画に関する申込み・問い合わせは **ならコープ広報CSR推進課 ☎0742-35-1183** **コープ自然派奈良 ☎0743-59-6660**

主催/ピースアクション2008inなら実行委員会

奈良県生活協同組合連合会(ならコープ、コープ自然派奈良、ウィル・コープなら、奈良女子大生協、奈良教育大生協、奈良県立大生協、奈良高専生協、樟蔭女子大開校キャンパス生協、奈良県労働者共済生協)、ならコープ平和の会、ならコープwithユニセフの会、桜(鎮魂)の会、サークルおてんとさん

後援/大和郡山市教育委員会



広がる協同・くらしの輪

□アースデー 2008 in なら

4月20日、県浄化センター自由広場においてならコープ主催、県連共催で開催され、天候にも恵まれ約850人の組合員・市民が大和川クリーン作戦に参加しました。大和川河川敷の清掃では2トトラック3台分のごみが回収され、爽やかな汗を流しました。自由広場ではならコープ環境資金の助成を受けた12団体の発表、行政も交えた環境団体の展示、飲食販売や遊びコーナーで高専生協と樟蔭女子大生協の学生委員が参加しました。



□コープ自然派奈良「生協フェスティバル」

4月26日コープ自然派奈良主催で郡山城ホールレセプションルームにおいて開催され、およそ300名の来場がありました。会場内には生産者のブース、組合員のブースが並び、手作り感いっぱいの会場では、生産者との交流も持ちながら賑わいました。アレルギーチームのブースでは販売だけでなく、様々な情報提供も行い、組合員に役立つブースになりました。



□会員生協総代会

5月 22日 奈良教育大生協	29日 奈良高専生協
23日 奈良女子大生協	6月 6日 ならコープ総代会
26日 奈良県立大生協	11日 ウィル・コープ奈良
28日 樟蔭女子大生協	13日 コープ自然派奈良

いずれも、議案はすべて承認され、無事終了しました。

ウィル・コープならは、今総代会において名称を「生活クラブ生活協同組合」に変更されました。



□消費者支援機構関西(KC's)総会及び記念シンポ

6月28日、大阪科学技術センターに於いて開催されました。総会後のシンポジウムでは「消費者庁構想とKC'sにできること」と題し、KC'sの活動報告、消費者庁構想の現状報告、元行政職員や内閣府消費者団体訴訟室長も交えたパネルディスカッションで適格消費者団体の課題を深めました。



つながる連帯・友好の輪

□温暖化防止1000万人キャンペーン交流会

4月23日生協会館新大阪で関西地連主催で標記の交流会が開催され、地連管内の生協・連合会の担当及び理事35名が参加しました。はじめに気象キャスターネットワーク南利幸氏による「気象予報士から見た地球温暖化」をテーマにした基調講演があり、その後、コープこうべの取組み報告をお聞きし、参加生協それぞれがキャンペーンに向けた準備状況等、報告交流が行われました。



□9条世界会議 in 関西

5月6日大阪舞洲アリーナにて、同実行委員会主催で開催され、約8000人が集まりました。午前は国際交流としてワークショップ形式で意見交換会が行われ、午後からはメインステージにおいて海外ゲストのスピーチ、新世代の9条への思いの報告、その他周辺会議室も使った多彩な催しが行われました。



□第27回つながり祭

奈良県障害者協議会主催で奈良教育大学附属小学校体育館及び障害児学級グラウンドで開催され、約1000名の関係者・一般が参加しました。ならコープ職員・エリアサポーター約20名と教育大生協からは学生委員5名が合流しました。北部支所と連携しブース出展し、コープ商品の試食販売等を通じて活動アピールを行ないました。



□消費者フォーラム

28日県立図書情報館において県食品・生活相談センター、同館、県金融広報委員会の主催で開催され、相談員その他関係者・一般約120名が参加しました。椋山学園大学教授 東 珠実氏が基調講演、高齢化の現状と進行を背景に、そこを狙った消費者トラブルの増加をデータに基づいて解説。回りからの「見守り」の必要性について指摘、県のサポーターの取組みが評価されました。



県連日誌

4月

- 9日 日生協地域別代議員会議
- 14日 つながり祭実行委員会
- 17日 関西地連運営委員会
- 20日 アースデー 2008
- 23日 温暖化防止1000万人キャンペーン交流会
- 25日 ピースアクション実行委員会
- 28日 つながり祭実行委員会
- 30日 こむらいふ奈良・内部監査

5月

- 6日 9条世界会議 in 関西
- 11日 つながり祭
- 13日 県連監事監査
- 14日 ピースアクション実行委員会
- 15日 行政合同協議会・県連理事会
- 18日 おてんとさん講演会
- 22日 県建築物イベント実行委員会
- 25日 奈良の食文化研究会総会
- 28日 消費者フォーラム
県もてなし推進県民会議総会

6月

- 3日 協同組合デー事務局会議
- 12日 日生協通常総会
- 13日
- 17日 ピースアクション実行委員会
- 21日 県連 第19期通常総会
- 28日 KC'S総会・シンポ
- 30日 餃子問題報告会

お知らせ

気候保護法案勉強会
開催のご案内!

「温暖化対策促進のための 気候保護法案」

～G8洞爺湖サミットを受けて～

G8洞爺湖サミットを受けて、NGOから「気候保護法案」を提出します!

日時

2008年8月23日(土) 午後1時30分～4時30分(会場午後1時)

会場

奈良県中小企業会館
A B会議室(近鉄奈良駅 東へ徒歩1分)

定員

70名(先着順) 資料代要

※申込み締切 平成20年8月22日(金)

申込先
申込み先

山根: TEL&FAX 0744-33-5406
倉本: TEL 090-7097-6604

当日参加
も歓迎!

主催 サークルおてんとさん

協力 特定非営利活動法人 気候ネットワーク、特定非営利活動法人 奈良ストップ温暖化の会

先ごろ開催された日本生協連総会で厚生労働省社会・援護局長中村秀一氏が来賓の挨拶をされた。特に冷凍ギョーザ事件の対応と生協法の改正による非営利セクターとしての弱点と期待を述べられ、相互扶助組織としての「出資・利用・運営参加」の重要性を語られた。肝に銘じたい。

(迪)

5月ミャンマー自然災害、四川省大地震と立て続けに自然の猛威が多くの人命を奪い、平和な日常生活を破壊しました。また、そんな矢先、日本でも岩手・宮城内陸地震が発生し、地球の歯車が少しずつづれてきているようで、決してひとごとではなく、見舞われたときにどのように対応出来るのか、改めて考えさせられました。減災に向け事前に取組むことはもちろんですが、いざと言う時、どのように対処すべきか慌てないためにも日頃の訓練の積み上げは不可欠だと思いました

(正)

編集後記

奈良県生活協同組合連合会 〒630-8136 奈良市恋の窪1丁目2-2 ならコープ気付

TEL 0742-34-3535 FAX 0742-34-0043

URL <http://www.narakenren.coop/>